

# 介護保険利用者実態調査

---

— 目 次 —

1	介護保険に関するアンケート調査	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査設計	1
(3)	報告書の見方	1
2	アンケート結果の分析	2
(1)	性別 (S A)	2
(2)	年齢 (S A)	2
(3)	申請区分 (S A)	2
(4)	現在の要介護度 (S A)	3
(5)	世帯状況 (S A)	3
(6)	主な介護者 (S A)	4
(7)	新規申請者サービス利用予定 (S A)	5
(8)	変更・更新申請者 (介護申請者含む) サービス利用状況 (S A)	5
(9)	日常生活自立度	6
(10)	認知症高齢者自立度	7
(11)	介護サービス計画 (ケアプラン) に対する満足度 (S A)	9
(12)	介護サービス計画 (ケアプラン) を不満に感じた理由 (MA)	9
(13)	サービス利用料自己負担額	10
(14)	今後、介護を受けたい場所	11
(15)	保険料の負担感	12
(16)	保険料とサービスのあり方	12

## 1 介護保険に関するアンケート調査

### (1) 調査目的

本調査は第5期介護保険事業計画（計画期間：平成24年度～平成26年度）の策定にあたり，現在の介護サービス利用動向や今後の利用意向を把握し，負担と受益のあり方などについて被保険者の意見を反映することを目的として実施した。

### (2) 調査設計

調査対象	要介護等認定新規・更新・変更申請者で下記の期間に訪問調査を実施する者
調査対象者数	843名
調査方法	新規・更新・変更申請やサービス利用・未利用の別によらず統一した調査内容とし，訪問調査時に併せ，訪問調査員が本人又は家族からの聞き取り等による調査を実施
調査期間	平成23年4月～6月中旬
調査項目	1. 被保険者基本情報 2. サービスの利用および今後の利用希望について 3. 介護保険料について 4. 介護保険に関する要望等
企画実施・集計	宇都宮市保健福祉部高齢福祉課企画グループ

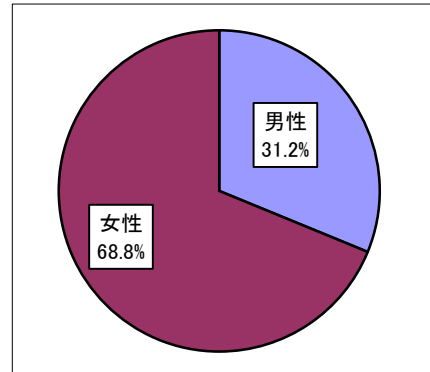
### (3) 報告書の見方

- 各調査項目の回答対象者を，調査項目の右側に記載している。
- 報告書中の記号について  
(SA) 単一回答 (Single Answer) の略。選択回答は1項目のみ。  
(MA) 複数回答 (Multi Answer) の略。回答する選択肢の数に制限がある。
- 回答の構成比は百分率であらわし，小数点第2位を四捨五入して算出している。

## 2 調査結果

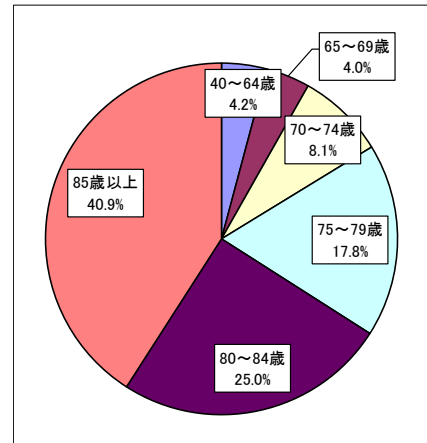
### (1) 性別 (SA) [対象者：調査対象者全員]

選択項目	回答人数	構成比
男性	263	31.2%
女性	580	68.8%
合計	843	100.0%



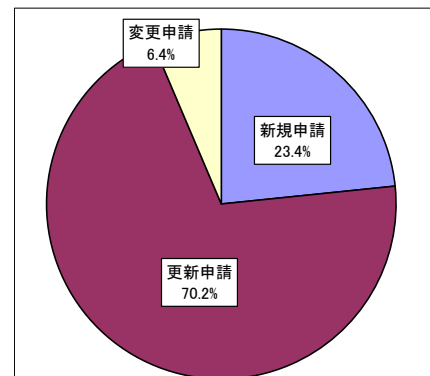
### (2) 年齢 (SA) [対象者：調査対象者全員]

選択項目	回答人数	構成比
40～64歳	35	4.2%
65～69歳	34	4.0%
70～74歳	68	8.1%
75～79歳	150	17.8%
80～84歳	211	25.0%
85歳以上	345	40.9%
計	843	100.0%



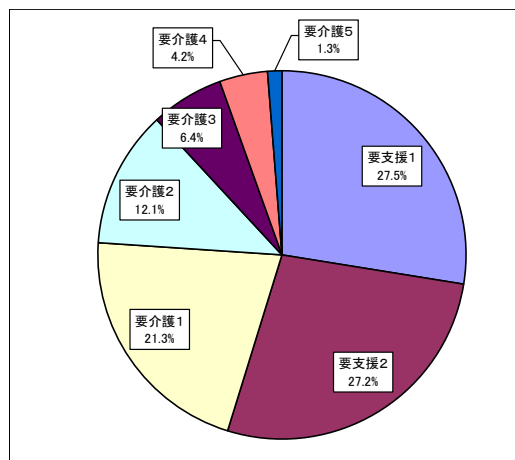
### (3) 申請区分 (SA) [対象者：調査対象者全員]

選択項目	回答数	構成比
新規申請	197	23.4%
更新申請	592	70.2%
変更申請	54	6.4%
合計	843	100.0%



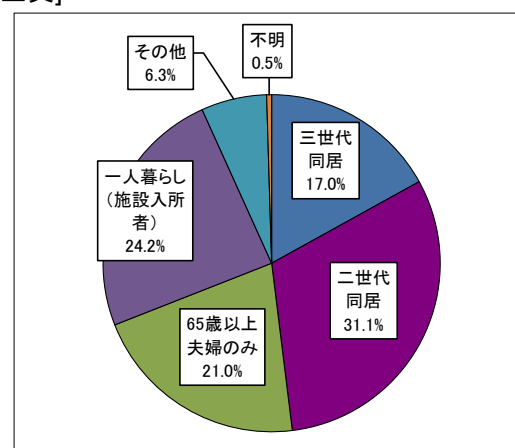
(4) 現在の要介護度 (SA) [対象者：更新・変更（介護申請含む）申請者]

選択項目	回答数	構成比
要支援1	176	27.5%
要支援2	174	27.2%
要介護1	136	21.3%
要介護2	77	12.1%
要介護3	41	6.4%
要介護4	27	4.2%
要介護5	8	1.3%
合計	639	100.0%



(5) 世帯状況 (SA) [対象者：調査対象者全員]

選択項目	回答数	構成比
三世帯同居	143	17.0%
二世帯同居	262	31.1%
65歳以上夫婦のみ	177	21.0%
一人暮らし (施設入所者)	204	24.2%
その他	53	6.3%
不明	4	0.5%
合計	843	100.0%

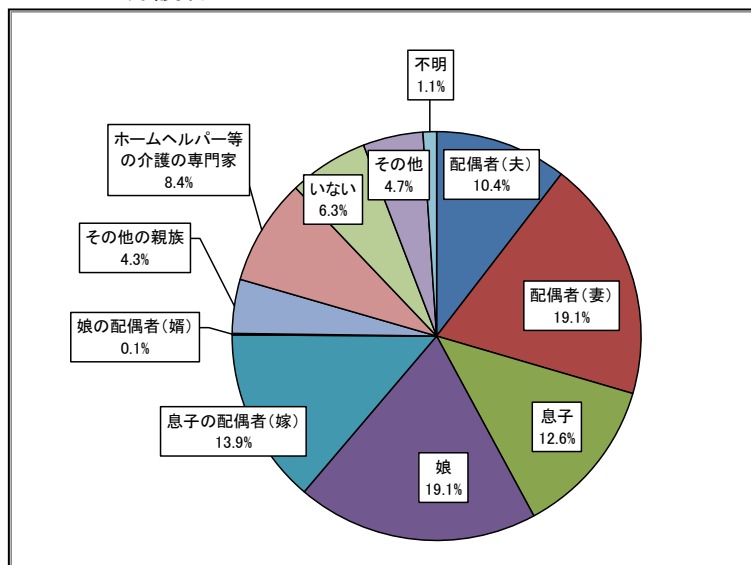


世帯の状況については、「二世帯同居」(31.1%)との回答が多くなっている。次いで「一人暮らし (施設入居者含む)」(24.2%), 「65歳高齢者以上夫婦のみ」(21.0%) の順となっている。

(6) 主な介護者 (SA) [対象者：調査対象者全員]

選択項目	回答数	構成比
配偶者 (夫)	88	10.4%
配偶者 (妻)	161	19.1%
息子	106	12.6%
娘	161	19.1%
息子の配偶者 (嫁)	117	13.9%
娘の配偶者 (婿)	1	0.1%
その他の親族	36	4.3%
ホームヘルパー等の介護の専門家	71	8.4%
いない	53	6.3%
その他	40	4.7%
不明	9	1.1%
合計	843	100.0%

○ 主な介護者

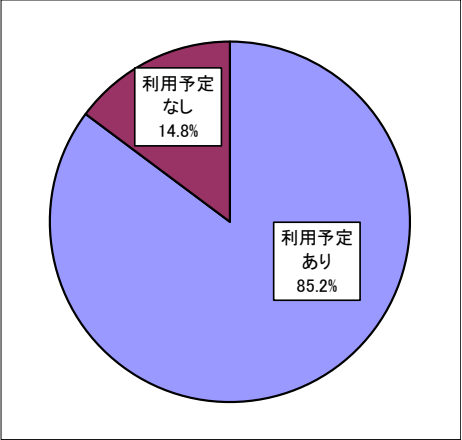


男性については、「配偶者 (妻)」の割合が高い。また、妻や娘、息子の配偶者 (嫁) など、女性の介護者の割合が高い。

(7) 介護サービスの利用予定 (S A) [対象者：新規申請者]

選択項目	回答数	構成比
利用予定あり	167	85.2%
利用予定なし	29	14.8%
合計	196	100.0%

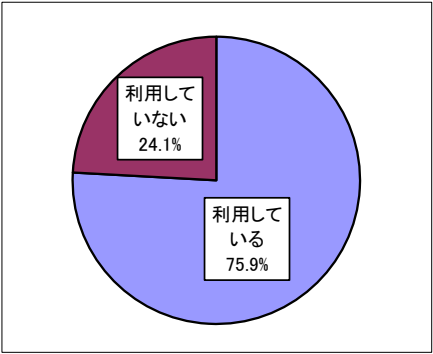
新規申請者の85.2%が、  
介護サービスの利用を予定し、  
要介護等認定申請を行っている。



(8) 介護サービスの利用状況 (S A) [対象者：変更・更新申請者]

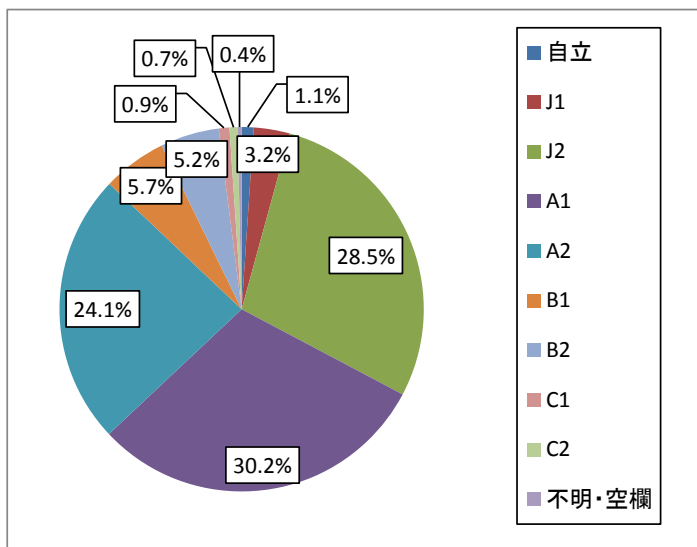
選択項目	回答数	構成比
利用している	481	75.9%
利用していない	153	24.1%
合計	634	100.0%

更新・変更申請者のうち、75.9%の人が、現在、介護サービスを利用していると回答しており、サービス未利用者は、24.1%となっている。



(9) 日常生活自立度 [対象者：調査対象者全員]

日常生活自立度		
自立	9	1.1%
J1	27	3.2%
J2	240	28.5%
A1	255	30.2%
A2	203	24.1%
B1	48	5.7%
B2	44	5.2%
C1	8	0.9%
C2	6	0.7%
空白・不明	3	0.4%
合計	843	100.0%



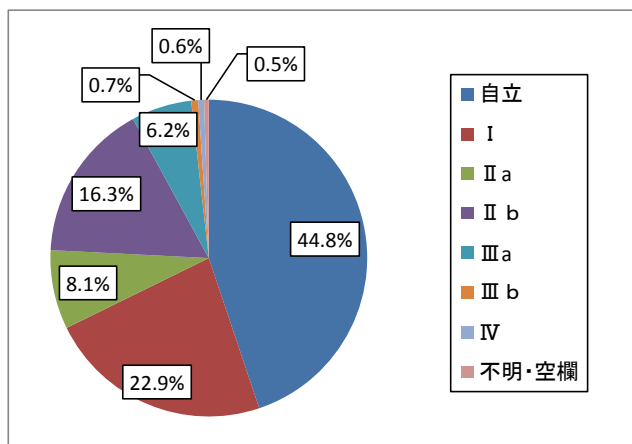
障害老人の日常生活自立度について、「屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない」とされる自立度A以上の方(567人)は、全体の68%を占めている。

	新規	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
自立	9								9
J1	9	12	3	2		1			27
J2	62	85	59	24	5	3	2		240
A1	46	52	57	58	30	11	1		255
A2	55	24	47	36	21	14	5	1	203
B1	9	1	4	5	19	7	3		48
B2	13	1	1	4	3	6	12	4	44
C1	4			2			1	1	8
C2	1						3	2	6
不明・空欄		1	1	1					3
合計	208	176	172	132	78	42	27	8	843



(10) 認知症高齢者自立度 [対象者：調査対象者全員]

認知症高齢者自立度		
自立	378	44.8%
I	193	22.9%
II a	68	8.1%
II b	137	16.3%
III a	52	6.2%
III b	6	0.7%
IV	5	0.6%
不明・空欄	4	0.5%
合 計	843	100.0%



日常認知症高齢者自立度について、「日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できるII以上の方(272人)は、全体の33%を占めている。

	新規	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
自立	96	117	103	30	21	9	2		378
I	32	39	53	31	19	11	8		193
II a	20	7	8	22	8	1	1	1	68
II b	40	12	7	42	16	13	7		137
III a	11	2		10	10	7	7	5	52
III b	4		1		1				6
IV					2		1	2	5
M									0
不明・空欄	1		1	1			1		4
合 計	204	177	173	136	77	41	27	8	843

(参考資料) 日常生活自立度及び認知症高齢者自立度クロス集計

選択項目	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	合計
自立	1	23	132	116	76	17	11	2	1		379
I		5	49	61	62	8	8				193
II a	1	1	26	19	13	5	2	1			68
II b		2	30	39	37	14	13	1	2		138
III a			3	18	11	4	10	3	2		51
III b			1	1	3						5
IV				1			1		3		5
V											0
不明							1			3	4
合計	2	31	241	255	202	48	46	7	8	3	843

寝たきり度A以上、認知症度II以上の方(207人)は、全体の約25%を占めている。

(参考) 日常生活自立度及び認知症高齢者自立度について

「認知症高齢者自立度」

認知症高齢者の日常生活に関する自立度の判定基準となるもの(ランクはIからMまで)

- I. 何らかの認知症の症状を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
- II. 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。
- III. 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
- IV. 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
- M. 著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

(平成5年10月26日 老健第135号 厚生省老人保健福祉局長通知)

「障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)」

障害老人の日常生活に関する自立の判定基準となるもの(ランクはJからCまで)

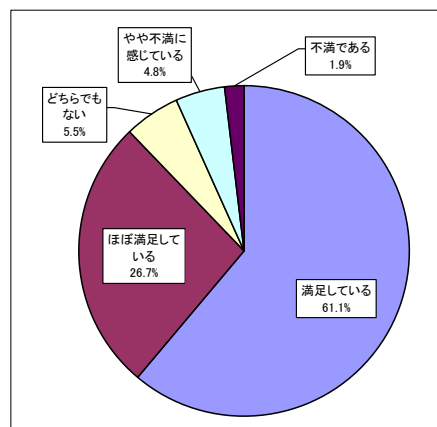
- J. 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する
- A. 屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない
- B. 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ
- C. 1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する

(平成3年11月18日 老健第102-2号 厚生省大臣官房老人保健福祉部長通知)

(11) 介護サービス計画（ケアプラン）に対する満足度（SA）

[対象者：介護サービス利用者]

選択項目	回答数	構成比
満足している	291	61.1%
ほぼ満足している	127	26.7%
どちらでもない	26	5.5%
やや不満に感じている	23	4.8%
不満である	9	1.9%
合計	476	100.0%

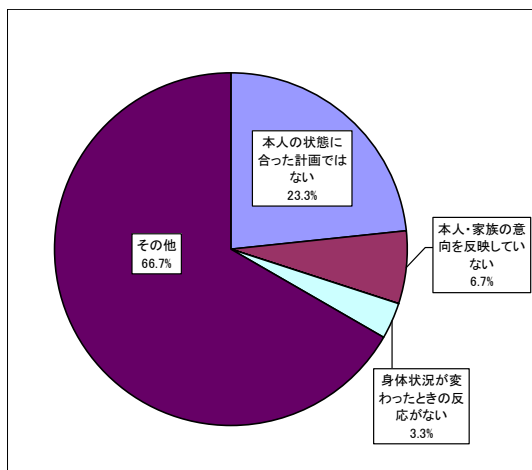


介護サービス計画（ケアプラン）に対する満足度については、「満足している」(61.1%)と「ほぼ満足している」(26.7%)の合計は、87.8%となっている。また、「やや不満」(4.8%)、「不満」(1.9%)の合計は、6.7%となっている。

(12) 介護サービス計画（ケアプラン）に対する不満の理由（MA）

[対象者：(8) で不満と回答]

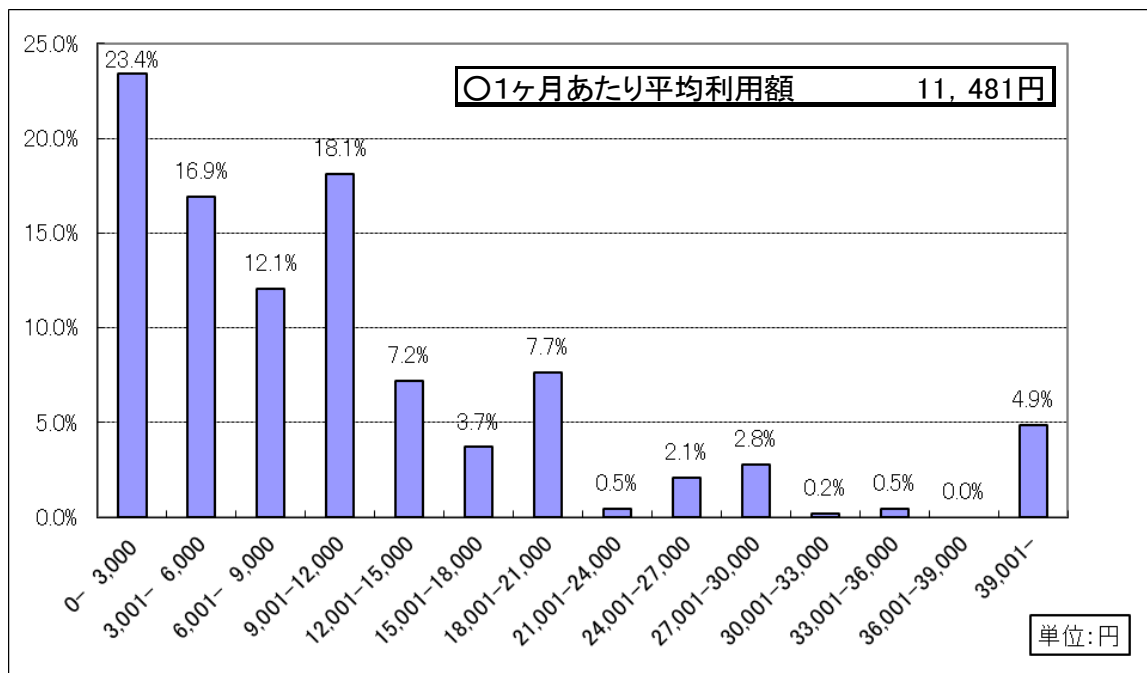
選択項目	回答人数	構成比
本人の状態に合った計画ではない	7	23.3%
本人・家族の意向を反映していない	2	6.7%
色々なサービス利用のアドバイスがない	0	0.0%
身体状況が変わったときの反応がない	1	3.3%
その他	20	66.7%
合計	30	100.0%



ケアプランに対する不満の理由については、「その他」が多く、「サービス回数が不足」という趣旨の意見が多かった。

なお、「その他」については、「施設が満床で利用できない」「サービスの時間が少ない」などの意見があった。

(13) 介護サービス利用料自己負担額（1月あたり） [対象者：介護サービス利用者]



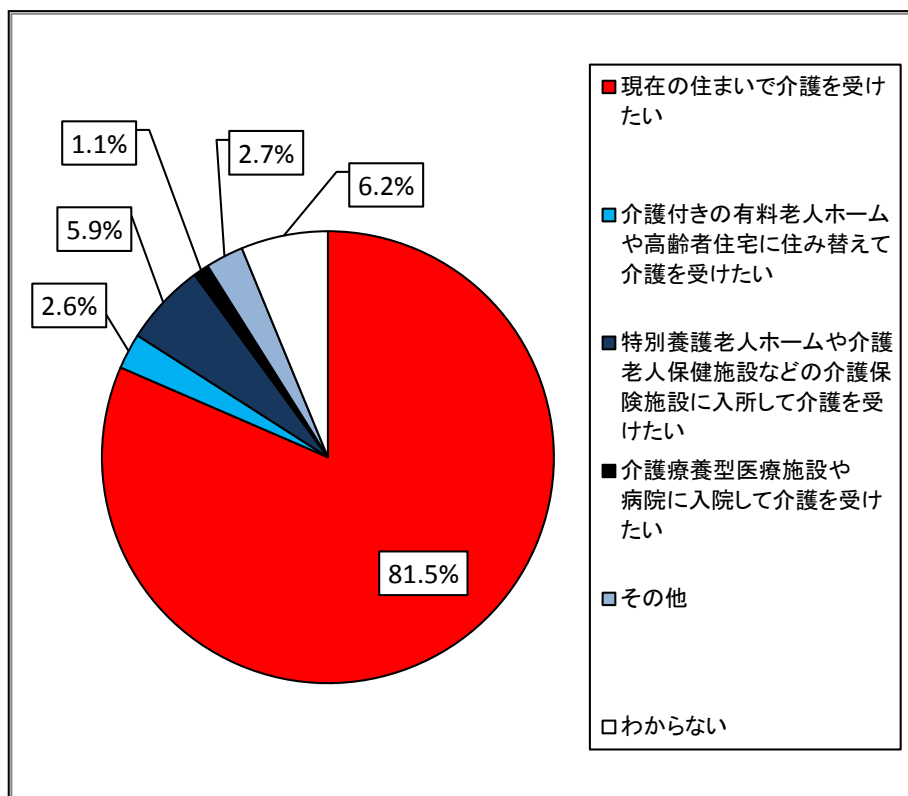
介護サービス利用者の自己負担額については、3,000円以下が23.4%と最も多くなっており、0円から12,000円以下の合計は全体の70.5%を占める結果となっている。

なお、介護サービス利用料自己負担額の1か月あたり平均利用額は11,481円となっている。また、最高額は150,000円となっている。

#### (14) 今後、介護を受けたい場所

[対象者：介護サービス利用者・利用予定者]

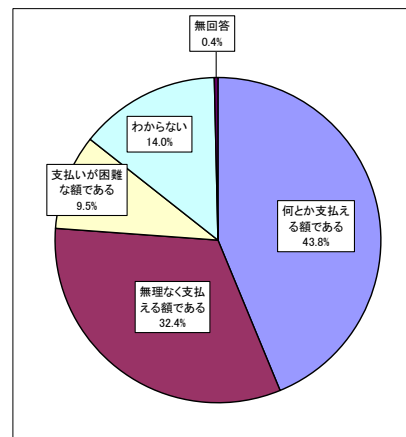
選択項目	回答数	構成比
現在の住まいで介護を受けたい	511	81.5%
介護付きの有料老人ホームや高齢者住宅に住み替えて介護を受けたい	16	2.6%
特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの介護保険施設に入所して介護を受けたい	37	5.9%
介護療養型医療施設や病院に入院して介護を受けたい	7	1.1%
その他	17	2.7%
わからない	39	6.2%
合計	627	100.0%



介護サービスを受けたい場所について、「在宅（自宅）」とする意見が全体の81.5%を占める。

(15) 保険料の負担感 [対象者：調査対象者全員]

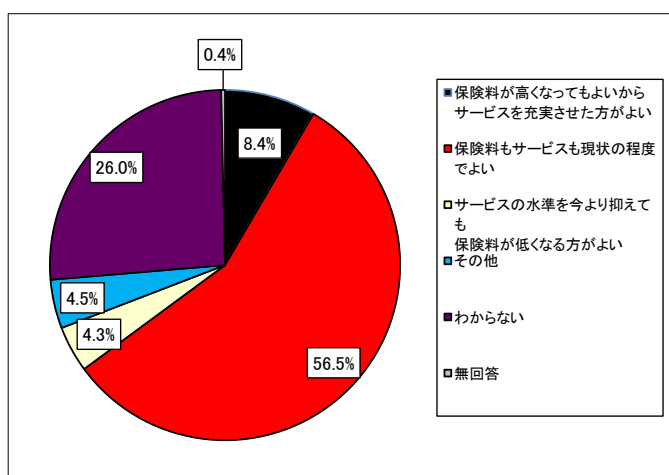
選択項目	回答数	構成比
無理なく支払える額である	273	32.4%
何とか支払える額である	369	43.8%
支払いが困難な額である	80	9.5%
わからない	121	14.4%
合計	843	100.0%



保険料に対する負担感のうち、「何とか支払える額である」が全体の43.8%、次いで「無理なく支払える額である」が32.4%を占める。

(16) 保険料とサービスのあり方 [対象者：調査対象者全員]

選択項目	回答数	構成比
保険料が高くなってもよいからサービスを充実させた方がよい	71	8.4%
保険料もサービスも現状の程度でよい	476	56.5%
サービスの水準を今より抑えても保険料が低くなる方がよい	36	4.3%
その他	38	4.5%
わからない	219	26.0%
無回答	3	0.4%
合計	843	100.0%



介護保険料と保険給付のあり方について、「保険料もサービスも現状のままでよい」とする意見が全体の56.5%と最も多い意見であった。また、「保険料が高くなってもよいから、サービスを充実させたほうがよい」とする意見が、サービスの水準を今より抑えても、保険料が低くなるほうがよい」という意見を上回った。